



きずな

4部 K ブロック

4部リーグ K ブロックは、真駒内南、FC リベルタ厚別、八軒北、宮の丘、月寒、菊水、厚別アスリートアカデミー、太平の8チームリーグで行われました。結果は勝ち点1差で菊水が1位、太平が2位でした。

菊水は GK からボールをつないでサイドへ展開し、クロスをあげるという攻撃をより多くしていました。センターリングの精度も高く、また、各選手がチームでの



役割を把握し、

的確なプレーをする中で得点を量産していました。

1人1人の丁寧なプレーが印象的でした。

太平もパスを中心に、個々人が状況把握・判断を行いながらプレーをしていました。ペナルティエリア外からのミドルシュートを得意とする選手も多く、思い切りのよいシュートが見られました。

リーグ全体としては各チームの指導者が状況認識

や、状況判断によく働きかけていました。選手もただ蹴るのではなく、状況にあったプレーをしようとしていました。リーグ戦前半ではミスも多くありましたが、後半ではそのミスの回数が減り、プレーの質の向上が見られました。チームとして、また個人としても成長がみられ大変価値のあるリーグ戦でした。

運営面では多くの方のご協力により、1日に2会場でリーグ戦を行うことができました。選手たちの待ち時間の軽減と、体力的な負担を減らして、試合に集中できる環境を整えることが



できました。雨により、リーグ戦が延期になることがありましたが、無事に9月初旬にリーグ戦を終えることができました。また、審判も3人制を積極的に取り入れ、審判のスキルアップとオフサイドなどのジャッジミスを少なくすることができました。

最後に会場を提供・運営をしていただいた各チーム関係者および保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



5部Mブロック

Mブロックは、日新、伏見、琴似、WEST SHIROISHI、sabio.FC札幌、西岡、大麻キッカーズ、米里の8チームでリーグ戦を行いました。得点力の高いチームがあり、得点差

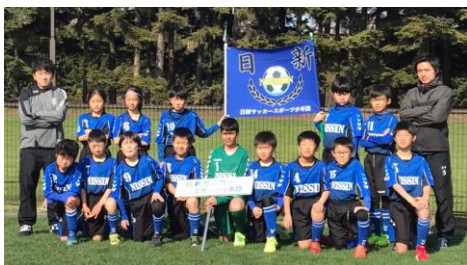


のつく試合もありましたが、各チームとも荒いプレーが少なく、フェアな戦いで全試合を終えることができました。

優勝は sabio.FC 札幌で、第1日目から高い個人技とともに、キャプテン⑥番を中心としたパス回しで、新規登録チームとは思えない圧倒的な強さで勝ち星を積み上げました。

準優勝は米里で、キャプテン⑨番を中心に組織的に、さらには個人の献身的なプレーもあり、最終日には優勝チームに唯一の黒星をつけました。

4月27日(土)の第1節・第2節以降、各チームの協力により、札幌市と江別市の各小学校グラウンドと東雁来公園において、円滑にリーグ戦を進めることができました。7月13日には前日からの大雨で、残念ながらホームゲームを開催できなかったチームがありましたが、代替日の会場を受けていただいたチームがあり、また東雁来公園会場では、保護者の方々に記録などの運営を担っていただきました。選手は、色々な会場で個性のある各チームと対戦することができ、良い経験になったものと考えています。



日新



伏見



琴似



WEST SHIROISHI



西岡



大麻キッカーズ